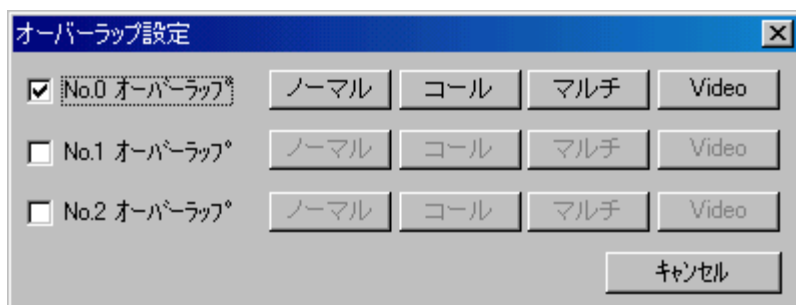


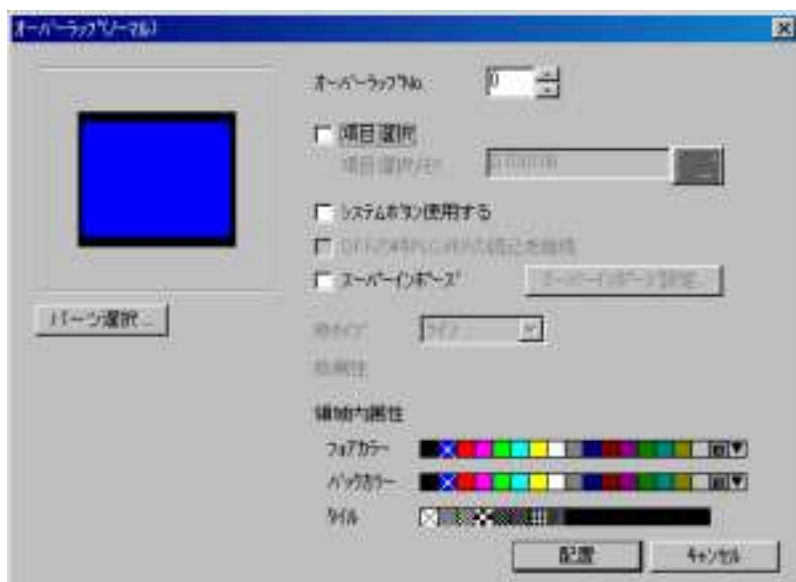
作成日:2014/11/12

ここをクリック



・オーバーラップアイコンをクリックして、
オーバーラップ設定を表示します。

・オーバーラップ設定でNo. 0をチェックし、ノーマルを選択。



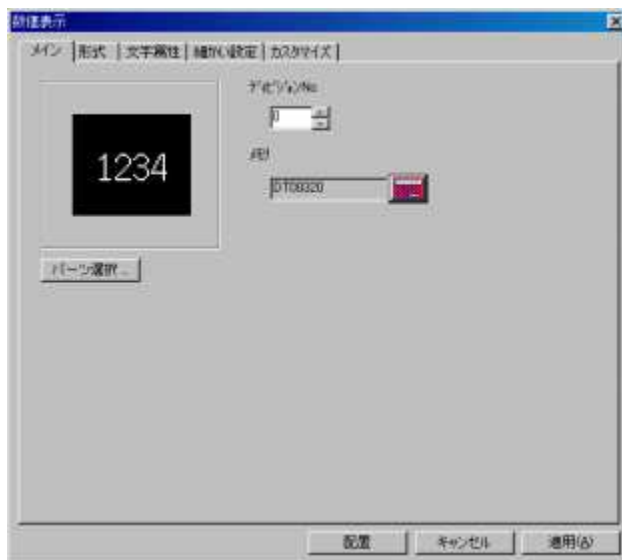
・オーバーラップ(ノーマル)を、
このままベース画面に配置します。

作成日:2014/11/12

ここをクリック



- ・データ表示アイコンをクリックして、数値表示の設定を表示します。
- ・表示するメモリとしてPLCのデータレジスタを指定。この場合はDT320を設定。設定後、オーバラップ画面No. 0に配置します。



作成日:2014/11/12



どちらか

- マクロモードを使って任意のPLCのデバイスのON、OFFで、オーバーラップ画面の表示・消去をします。

- M**
- まずパーツのマクロをクリックします。マクロ設定が表示されますので、PLCのデバイスを設定します。例えば、内部リレーならR110。データレジスタのビットならDT5100-02(DT5100の2ビット目を表す)を入力。
 - ONマクロ(接点やビットがONに立ち上がった時実行)
OFFマクロ(接点やビットがOFFに立ち下がった時実行)をそれぞれマクロプログラムを作成登録します。例では、\$u00110にオーバーラップ画面No. 0を \$u00111は1で表示、0で消去のデータになります。オーバーラップ表示用コマンドはSYS(OVLP_SHOW)です。



M マクロモード ONマクロ[1](画面No[0])

0	\$u00110=0 (W)
1	\$u00111=1 (W)
2	SYS(OVLP_SHOW) \$u00110

M マクロモード OFFマクロ[1](画面No[0])

0	\$u00110=0 (W)
1	\$u00111=0 (W)
2	SYS(OVLP_SHOW) \$u00110